

くまのじんじゃ 熊野神社



● れきし 歴史

くまのじんじゃ 熊野神社は、いつ頃ころに建てられたかは不明ふめいですが、奈良時代ならじだいの天平10年てんぴょうねん

(738年ねん)に浄定坊じょうじょうぼうというお坊さんほうによって発見はっけんされました。和歌山県わかやまけんの新宮市しんぐうし

にある熊野速玉大社くまのはやたまたいしゃという神社じんじゃから神様かみさまを分けてもらったと伝えられています。

この神社の建物たてもの(社殿しゃでん)の下には、箱根はこねで最も古くからある、自然しぜんに湧き出ている

温泉おんせんがあり、浄定坊じょうじょうぼうさんが発見はっけんしたときからありました。今でも湧き続けている

温泉おんせんです。

はこね おんせん れきし 箱根の温泉の歴史は、この温泉おんせんの発見はっけんから始まり、天平宝字元年てんぴょうほうじ がんねん(757年ねん)に湯

もとおんせん ひら 本温泉もとおんせんを開いたと伝えられていて、1200年ねんいじょう以上の歴史れきしがあります。

ちか ほうじょうけ はか た 近くに、北条家のお墓はかが建てられている早雲寺そううんじが在り、お参りまいをするときにここ

に立ち寄たって湯ゆに浸つかっていたことから、「北条ほうじょうし氏の足洗あしあらいの湯ゆ」とも言われてい

ます。また、^{くまの}熊野を音読みすると「ゆや」となるところから、「ゆや^{ごんげん}権現」として

^{だいじ}大事にされて、^{おんせん}温泉の^{かみさま}神様としても^{した}親しまれています。

● ちいき かか 地域との関わり

^{はこね}箱根は^{にほん}日本だけではなく、^{せかい}世界でも有名で、^{まいとしおお}毎年^{ひと}多くの人^{かんこう}が観光に^{おとず}訪れていて、

^{おお}多くの人^{ひと}が^{おんせん}温泉に入^{はい}って行^いき、^{この}好まれています。

^{はこね}箱根にとって^{おんせん}温泉は^{かんこうきゃく}観光客の^{みんな}皆^{たの}が^{たいせつ}楽しんでくれる大切なもので、^{かんしゃ}その感謝の^き気

^{もち}持ちをこめ、^{まいとし}毎年^{がつ}9月^{にち}15日^{まつ}にお祭りをしています。

● かんれん 関連するスポット

^{ほんまよせぎびじゅつかん}本間寄木美術館…^{むかし}昔^{はこね}から^{かんこう}箱根に^{きたひと}観光に来た人^{かか}たちと関わりがあります。

^{はこねゆもとけんぼん}箱根湯本見番…^{むかし}昔^{はこね}から^{かんこう}箱根に^{きたひと}観光に来た人^{かか}たちと関わりがあります。